

i 新機能と改良点 (83)

1. ご注意 (86)

2. ソフトウェア使用許諾契約書 (87)

3. 必要なハードウェアとソフトウェア (89)

3.1 ハードウェア

3.2 ソフトウェア

3.3 サポート OS

3.4 動作確認環境

4. 使用にあたっての重要事項 (91)

4.1 患者の一意性確保について

4.2 検査結果ファイル統一規格

4.3 検査依頼時の注意

4.4 データベースのバックアップについて

4.5 再インストール

4.6 ロック解除

5. インストール (93)

5.1 インストール

5.2 ソフトウェアの登録と初期設定

5.3 インストール又はソフトウェア登録で発生 する可能性のあるトラブルと対処方法

6. アンインストール (100)

6.1 アンインストール手順

7. 使用方法 (102)

7.1 起動方法

7.2 検査結果が報告されたとき

7.3 一人の患者に複数の患者コードを付与した とき

7.4 透析診療マニュアルの参照

8. 機能説明 (105)

8.1 ログオン

8.2 メニュー

8.3 使用者登録

8.4 パスワードの変更

8.5 セキュリティ設定

8.6 医師のコメント登録

8.7 患者検索と患者登録

8.8 患者マスタインポート

8.9 検査結果登録

8.10 検査結果インポート

8.11 判定指示・印刷指示

8.12 判定結果参照

8.13 検査結果参照

8.14 危機管理報告

8.15 患者マスタ訂正 VOID

8.16 検査結果訂正 VOID

8.17 訂正履歴参照

8.18 参照設定

8.19 患者データ送信

8.20 患者データ受信

8.21 検査データ送信

8.22 転入時データインポート

8.23 透析実績

8.24 透析実績訂正 VOID

9. 資料 (162)

9.1 問題点・不具合連絡用紙

i 新機能と改良点

Version 2.01 → Version 3.01

1. 漢字やひらがなが含まれるユーザ名でのインストール (Windows 2000, Windows XP)
2. 透析診療マニュアルへのリンクボタン配置
3. 検査データ送信時に共有ロック数オーバーでエラーとなる不具合を修正
4. Δ 心胸比の計算式を修正
5. 不等号を含む検査結果の判定で異常終了する不具合を修正
6. 判定結果参照と評価表に不等号が出力されない不具合を修正
7. 透析患者基準値の見直し
8. コメントの見直し
9. Windows の [印刷] ダイアログボックスによる検査結果グラフの印刷

Version 1.00 → Version 2.01

1. アイコンのデザイン変更
 - ・「ジュネーブ条約」「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」「商標法」
2. セキュリティ強化
 - ・使用者に対する管理者権限の追加及び環境設定と危機管理のセキュリティ強化
3. 追加項目
 - ・静態値
 - ・ β_2 -マイクログロブリン後
 - ・動態値
 - ・ヘモグロビン (前回差, 前々回差, 3月前差, 最小値, 最大値, 平均値)
 - ・ヘマトクリット (前回差, 前々回差, 3月前差, 最小値, 最大値, 平均値)
 - ・血小板 (前回割合, 最小値, 最大値, 平均値)
 - ・フェリチン (前回差, 3月前差)
 - ・Intact-PTH (前回差)
 - ・HbA1c (前回差, 最小値, 最大値, 平均値)
 - ・相関値
 - ・体重増加率, BMI, Δ DW, Δ 心胸比
 - ・尿素窒素除去率, クレアチニン除去率, β_2 -マイクログロブリン除去率

- Kt/V, PCR, TACurea, 尿素産生率, 尿素窒素/クレアチニン, % クレアチニン産生速度
- TSAT, 鉄飽和率
- 補正 Ca, 補正 Ca * P 積
- 透析実績
 - 透析日, 累積回数, 開始時刻, 終了時刻, 透析時間
 - 身長, 心胸比, ドライウェイト, 体重前, 体重後
- フローチャートによる判定
 - 貧血に関する判定 [全患者] ※貧血有無に関わらず全患者を判定
 - 貧血に関する判定 [貧血患者] ※貧血が認められる患者のみ判定
 - カルシウム, リンに関する判定

4. 出力項目の任意指定

- 管理者は常に全ての結果を出力
- 患者評価表, スタッフ評価表, 参照画面, それぞれに任意指定
- 患者評価表への医会推奨項目の一括選択
- コメントのある項目の追加出力と感染症の取扱い

5. 患者登録

- 姓名検索に“〇〇から始まる”と“〇〇を含む”の検索オプション追加
- 患者マスタの VOID (削除) 機能追加
- 同一人物確認画面でこれから登録しようとする患者のマーキング表示

6. 検査結果登録

- 患者毎に採取日単位での画面印刷機能

7. 検査結果インポートから判定処理へのリンク

8. 判定指示と印刷指示

- 転出患者と死亡患者を除いた現所属患者のみの一括選択機能

9. 判定結果参照

- コメントが複数行ならば行高さを自動調整して表示
- 検査結果参照の起動ボタン追加
- 画面サイズの任意変更

10. 検査結果参照

- 画面印刷機能
- 判定結果参照の起動ボタン追加

- ・画面サイズの任意変更

11. 検査結果グラフ

- ・同時に複数グラフ表示
- ・画面サイズの任意変更
- ・画面印刷機能
- ・単位と許容範囲を追加

12. 医会と施設のオフラインデータ授受

- ・患者情報送信データ作成
- ・患者情報医会側管理データ受信
- ・検査結果送信データ作成
- ・転入時に前所属施設の検査データを医会 MINT システムから取込む機能

1. ご注意

- 1.1 本製品の一部または全部を書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 1.2 このソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セットが原則になっています。
- 1.3 本製品の仕様および関連するドキュメントに記載されている事項は、将来、訂正・改善の為予告なく変更する事があります。
- 1.4 特に記載していない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、人物、キャラクタ、データ等の名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名等とは一切関係ありません。
- 1.5 本マニュアル記載のソフトウェア使用許諾契約書に基づいて使用する場合を除いて、許諾なしにこのソフトウェアおよびマニュアルを使用することを固くお断りします。
- 1.6 このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 1.7 本製品の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたらご連絡下さい。
- 1.8 本製品の著作権は、社団法人日本透析医会に株式会社モーディスから無償提供されています。
 - Microsoft, Windows, Windows 95, Windows 98, Windows 98 se, WindowsMe, Windows NT 4.0 Workstation, Windows 2000 Professional, WindowsXP Home Edition, Windows XP Professional, VisualBasic, Excel 2000 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
 - SPREAD Copyright (C) 1999 FarPoint Technologies, Inc.
 - ActiveReports Copyright (C) 2000 Data Dynamics, Ltd.
 - Olectra Chart Copyright 2000 Component One LLC
 - その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

2. ソフトウェア使用許諾契約書

製 品 名：MINT（予防と未来型治療）

バージョン：3.01

ライセンス数：1 ライセンス

重 要

以下のライセンス契約書を注意してお読み下さい。本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、上記に示された製品（以下「本ソフトウェア製品」といいます）に関して、社団法人日本透析医会会員（以降会員と呼ぶ）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェア製品は、コンピュータソフトウェアを含み、「オンライン」または電子文書、それに関連した媒体、ならびに印刷物（マニュアルなどの文書）を含むこともあります。本ソフトウェア製品またはアップデート（以下に定義）をインストール、複製、または使用することによって、会員は本契約書の条項に拘束される事に承諾されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合は、会員に本ソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用の本ソフトウェア製品を直ちに返品して頂くこととします。さらに、本ソフトウェア製品の一部として別途に受け取るアップデートまたは本ソフトウェア製品のその他のコンポーネント（以下「アップデート」といいます）をインストール、複製、または使用することによって、会員はそのアップデートに付随の追加使用許諾条項に拘束されることに承諾されたものとします。追加使用許諾条項に同意されない場合は、会員にアップデートのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。

2.1 適用の対象

以下の条項は、会員がこの契約書とともに入手されたソフトウェア製品（コンピュータプログラムとマニュアルその他の関連資料を含み、以下「本製品」といいます）に適用します。本製品の著作権はディスクもしくはマニュアルその他に表示されており、著作権法により保護されています。会員は以下の条件により本製品の使用を許諾されます。

2.2 使用権

2.2.1 会員は、本製品を、単一のコンピュータにおいて非独占的に使用することができます。

2.2.2 会員は、正規のユーザ登録を行った担当者の管理下においてのみ、本製品を使用できます。

2.3 禁止事項

2.3.1 いかなる事由によっても本製品を譲渡、販売、転貸することはできません。

- 2.3.2 本製品を複製することはできません。
- 2.3.3 本製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

2.4 保証の範囲および免責事項

- 2.4.1 本製品の責に帰すべき物理的な欠陥（ディスクの破損など）があった場合、無償で欠陥のない商品と交換します。
- 2.4.2 前項に定める場合を除き、本製品に関していかなる保証も行いません。いかなる場合にも、会員が本製品を使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に関して一切責任を負いません。

2.5 製品内容の変更

- 2.5.1 会員に対する何らの予告なしに本製品の仕様を変更することがあります。
- 2.5.2 本製品改良のため、会員に対する何らの予告なしにプログラムの改変を行うことがあります。

3. 必要なハードウェアとソフトウェア

本製品をご使用いただくには、以下のハードウェアとソフトウェアが必要です。ご使用になるコンピュータのユーザマニュアル、取扱説明書、若しくはシステム情報等を参照して、要件を満たす事を確認して下さい。

3.1 ハードウェア

| ハードウェア | 要件 |
|--------------|--|
| コンピュータ | メーカーサポートの PC/AT 互換機 (DOS/V 機) |
| ディスプレイ | 800×600 (VGA) 256 色以上 (65536 色以上推奨) の表示をサポートするディスプレイ |
| CPU | Intel Pentium III クラスのプロセッサまたはその互換プロセッサ (233 MHz 以上推奨) |
| ハードディスクの空き容量 | インストールに最低約 20 MB と、データベース用として約 200 MB (※1) のハードディスク空き容量 (※1) 論理計算による患者数 100 人で約 5 年分の容量 |
| メモリ | 128 MB 以上のメモリ (256 MB 以上のメモリを推奨) |
| FD ドライブ | 1.44 MB でフォーマットされた 3.5 インチ FD (フロッピーディスク) メディアの読み書きが可能なドライブ |
| CD-ROM ドライブ | CD-ROM メディアの読み込みが可能な各種ドライブ |
| プリンタ | A4 用紙サイズが印刷可能なプリンタ |

3.2 ソフトウェア

| ソフトウェア | 要件 |
|--------|---|
| OS | Windows Me Windows 2000 Professional Windows XP Home Edition Windows XP Professional |
| その他 | Internet Explorer 5.01 SP2 以上 |

3.3 サポート OS

- MINT は Windows 付属の各種コンポーネント (*.dll, *.ocx 等) とサードパーティ製のコンポーネントを使用して動作しています。必要なコンポーネントは配布 CD-ROM を使用したインストール作業を行うことにより各 PC にコピーと登録が行われます。
- 新機能を追加した MINT のバージョンアップを行うにあたって、機能の実現には新たなコンポーネントが必要となる場合があります。

- 古いバージョンの Windows のサポートが徐々に打ち切られている現状では、Windows のバージョンによっては使用するコンポーネントが実装不可能なケースもありますので、今後リリースする MINT では古いバージョンの Windows は順次サポート外とさせていただきます。
- 蓄積したデータはデータベースファイルの移行によって継続使用が可能です。異なる PC へのデータ移行は、データ量と使用 PC の環境に応じて、MO、CD-ROM、DVD、ネットワーク等を用いて行います。

3.4 動作確認環境

開発にあたって次の環境で動作確認を行いました。

Windows Me

Windows 2000 Professional

Windows XP Home Edition

Windows XP Professional

4. 使用にあたっての重要事項

4.1 患者の一意性確保について

- 一意の患者コードを付番して患者マスタに登録します。患者コードには各施設の既存システムで付番したコードでも、カルテ番号でも使用できます。但し、死亡、転院を含めて同一患者に対して2度と同じコードを使用しない、唯一無二のコードである事が前提となります。
- 現在、一意の患者コードが使われていない施設では、MINT 導入時にその旨を登録すると、システムが患者マスタへの登録順番を一意の患者コードと見做して扱う仕組みを採用しています。当該施設が将来システム化を計画する場合には、MINT が付番した患者コードを統一患者コードとして使用して貰う事になります。
- 患者を登録する時は、重複して登録しないように「患者検索」で同一人物をチェックして登録します。

4.2 検査結果ファイル統一規格

- 今のところ、透析患者の検体検査は、各透析施設で院内検査又は外注検査として行われており、その結果、数多の外部検査機関や医療機関の多様なシステムが出力しているファイルの規格は、多岐に渡っていて統一されていません。更に、検査項目一つ例にとっても、全ての医療機関で名称 ID や単位等が統一されているとは言えません。
- MINT が、数千の医療・検査機関所有のシステムが出力するデータを読み込んで処理する事になると、それにかかる膨大な費用と時間の負担には耐えられません。一方、検査・医療機関が、共通の統一ファイルフォーマット・レコードレイアウトの標準形式で、定められた項目定義のデータを出力してくれれば、MINT の全国的利用が可能になります。
- そこで、日本透析医会は、MINT で用いる透析患者検査値のファイルフォーマット・レコードレイアウトとデータ項目の定義を、日本衛生検査所協会の会員と日本透析医会会員に予めお知らせし、MINT が処理可能な規格の検査ファイルを作って頂き、協力会員に研究成果を有効利用して貰う事にしました。
- 検査結果ファイル統一規格については、「8.10.2 検査結果ファイルの統一規格」を参照して下さい。

4.3 検査依頼時の注意

- 統一規格での報告を受ける為に、検査依頼する時は一意の患者コード、患者と採取日毎の採取順番 (1～)、および透析前後のタイミングを必ず依頼伝票に記述 (記録) して下さい。

4.4 データベースのバックアップについて

- 頻繁にデータベースのバックアップを採ることをお奨めします。ハードウェア、ソフトウェアの問題が発生してもバックアップからデータを復元することで、データロスが最小限に抑えられます。
- 当製品にはデータベースをバックアップする機能は付属していませんが、他媒体、他フォルダにデータベースファイルをコピーすることでバックアップを採ることが出来ます。データベースファイルはアプリケーションをインストールしたフォルダに、「Table.mdb」という名前で格納しています。（インストール時のデフォルトパスは、「c:¥Program Files¥MINT」となっています。）

4.5 再インストール

- 当ソフトウェアは一度インストールすると再インストール出来ません。再インストールには未使用のセットアップFDが必要となります。再インストールを希望する会員はセットアップFDを日本透析医会から入手してインストール手順に従って再インストールして下さい。
- 再インストール作業に入る前に、「4.4 データベースのバックアップについて」に従って必ずデータベースファイルのバックアップを採取して下さい。再インストール後に蓄積したデータを復旧出来ます。

4.6 ロック解除

- インストールしたPCの環境が変化した時はシステムがロックされ使用不可となります。ロック解除にはロック解除FDが必要となります。ロック解除を希望する会員はロック解除FDを日本透析医会から入手して次の手順でロックを解除して下さい。

ロック解除FDをFDドライブに挿入し、タスクバーのスタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウの「名前(O):」に「A:¥ulk 001.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックして下さい。（A: はFDドライブです。使用しているFDドライブを入力して下さい。）

ロック解除プログラムが起動します。画面に表示される説明に従って操作して下さい。

5. インストール

- 本製品の製品ディスクに含まれているインストールプログラム (setup.exe) は、指定されたハードディスクに新しいフォルダを作成し、製品ディスクから必要なファイルをコピーします。ここでは、Windows XP でフロッピーディスクドライブを A、製品ディスクを挿入する CD-ROM ドライブを D、インストール先のハードディスクドライブを C として説明します。
- インストール作業を始める前に、「3. 必要なハードウェアとソフトウェア」を参考にして、インストールしようとするコンピュータが要件を満たしている事を確認して下さい。
- 使用する PC の OS が Windows 2000, Windows XP の時は、管理者権限を持つユーザ名でログオンしてインストールを行って下さい。
- 新規インストールとバージョンアップインストールの選択は「5.2 ソフトウェアの登録と初期設定」で行います。「5.1 インストール」では新規インストールとバージョンアップインストールでの操作の違いはありません。

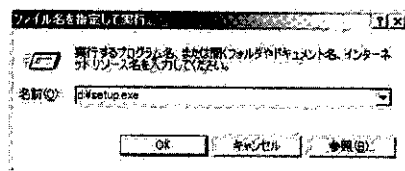
※MINT は十分なテストを重ねておりますが、落雷や停電、何らかの不具合などで、データが失われる危険性もあります。バージョンアップインストールをする前に、「4.4 データベースのバックアップについて」に従って必ずデータベースファイルのバックアップを採取して下さい。

5.1 インストール

Windows XP を起動して、製品ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。

タスクバーのスタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

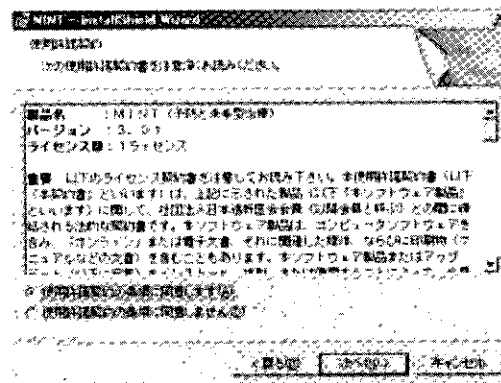
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウの「名前 (O):」の項目に「d:¥setup.exe」と入力し、[OK] ボタンをクリックして下さい。



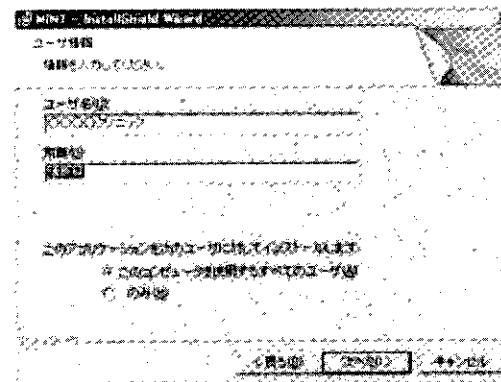
インストールプログラムが起動したら [次へ (N) >] ボタンを押下します。



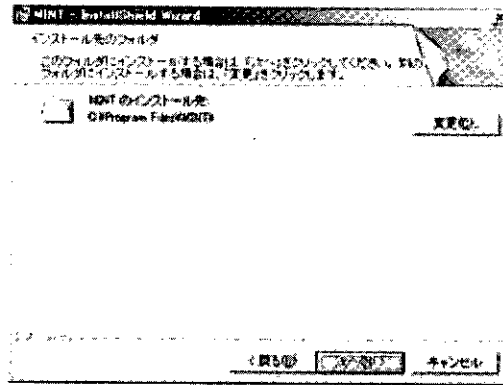
使用許諾契約を注意深く読んだ上で、「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックして [次へ (N) >] ボタンを押下します。



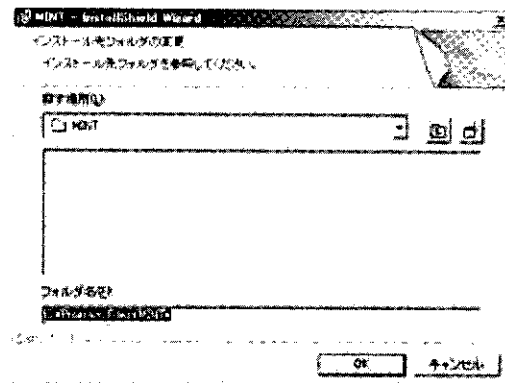
ユーザ情報を入力して [次へ (N) >] ボタンを押下します。



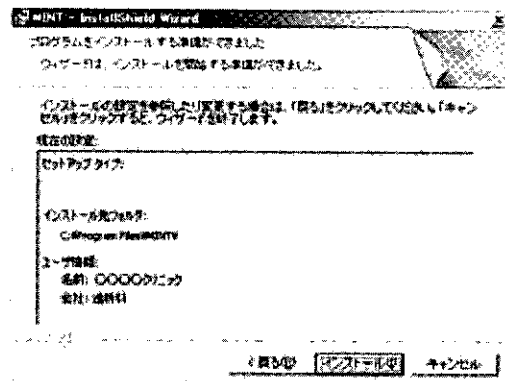
インストール先フォルダを指定します。規定のフォルダは「c:\Program Files\MINT」となっています。そのまま規定のフォルダにインストール（推奨）するときは [次へ (N) >] ボタンを押下します。



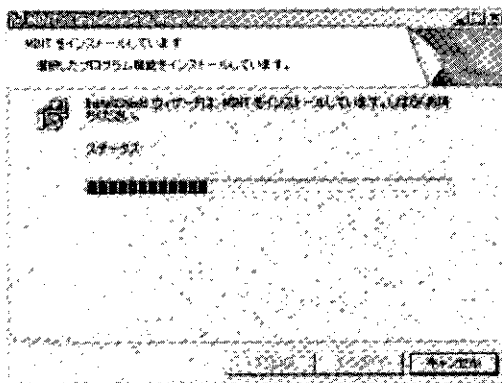
規定のフォルダ以外にインストールするときは [変更 (C)...] ボタンを押下して任意のフォルダを指定します。



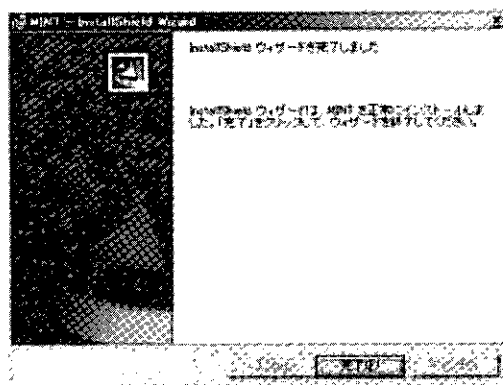
以上でインストールの設定は完了です。[インストール (I)] ボタンを押下して下さい。



インストールが始まります。そのまま暫くお待ちください。



インストールが正常に終了すると次のウィンドウが表示されます。[完了 (F)] ボタンを押下してインストールを完了させます。



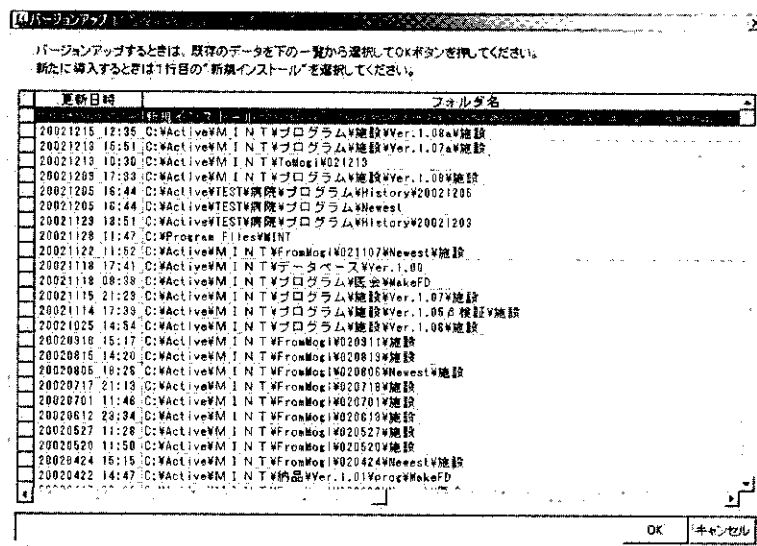
5.2 ソフトウェアの登録と初期設定

タスクバーのスタートメニューから、「プログラム (P)」-「MINT (予防と未来型治療)」-「MINT (予防と未来型治療)」を選択して、プログラムを起動します。(規定のプログラムグループをそのまま選択した時の例です。インストールで任意のプログラムグループを選択したときはプログラムグループが異なります。)

インストールされたフォルダにバージョンアップ可能なデータベースファイル (Table.mdb) が存在すると自動的にデータベースのアップグレードを行います。(元の Table.mdb は OldTable.mdb として保存されます。)

インストールされたフォルダにバージョンアップ可能なデータベースファイル (Table.mdb) が存在しなければ、アクセス可能な全てのドライブからバージョンアップ可能なデータベースファイル (Table.mdb) を検索して一覧表示します。

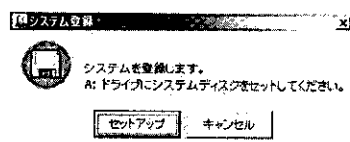
新規インストールする時は「新規インストール」(規定値) を選択して [OK] ボタンを押下します。バージョンアップインストールする時はアップグレードするデータベースファイルを選択して [OK] ボタンを押下します。



バージョンアップインストールの時、選択したデータベースファイルをバージョンアップします。データ量によっては時間がかかることがありますが、暫くそのままお待ち下さい。

新規インストールの時、またはシステム登録が済んでいない時はフロッピーディスクから最終的なセットアップ作業を行います。付属のフロッピーディスクを書込み可能な状態でフロッピーディスクドライブに挿入して下さい。

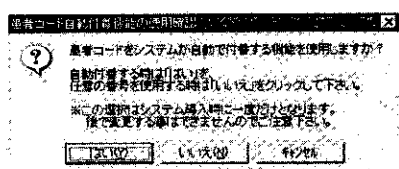
システム登録が済んでいる時はこのウィンドウは表示されません。



患者コード自動付番機能を使用するか否かを選択します。使用する時は [はい (Y)] ボタンを、既存システムで付番したコード若しくはカルテ番号を患者コードとして使用する時は [いいえ (N)] ボタンを押下して下さい。どちらにするか決まっていない時は [キャンセル] ボタンを押下してシステム登録を中断し、「4.1 患者の一貫性確保について」を参考に患者コードの取扱いを決定したうえで、再度ソフトウェアの登録と初期設定を行って下さい。

※患者コード自動付番機能については取消または変更することは出来ませんので、十分検討したうえで設定を行って下さい。

バージョンアップインストールの時はこのウィンドウは表示されません。



ログオンウィンドウが表示されればインストール作業は完了です。



新規インストールの時は管理者用として初期設定されている使用者 ID「admin」でログオン（パスワード無し）します。

バージョンアップインストールの時は登録されている任意の使用者 ID でログオンします。

5.3 インストール又はソフトウェア登録で発生する可能性のあるトラブルと対処方法

5.3.1 インストールに必要なファイルが不足している場合

「システムにある一部のシステムファイルが最新ではないので、セットアップを続行できません。セットアップでこれらのファイルを更新してもよい場合は [OK] をクリックして下さい。もう一度セットアップを実行する前に Windows を再起動する必要があります。システムファイルを更新しないでセットアップを終了する場合は [キャンセル] をクリックして下さい。」

このメッセージは、インストールに必要なファイルを更新したことによる、再起動要求のメッセージです。

[OK] ボタンを押下して、コンピュータ再起動後、setup.exe を再度実行して下さい。

5.3.2 Windows 2000, Windows XP にインストールできない

コンピュータの管理者権限を持たないユーザ名ではインストールできません。管理者権限を持つユーザ名でログオンして下さい。

5.3.3 セットアップディスクがうまく作動しない

「FD が書込み可能になっているかチェックして下さい。」のメッセージは、FD が書込み不可になっている時、または送付されたセットアップ用 FD 以外でインストールを行った時に表示されます。日本透析医会から送付されたオリジナルの FD を書込み可能な状態でセットアップを行って下さい。

5.3.4 A ドライブの 3.5 インチ FD が使用できない

FD ドライブについては、Windows のシステムからドライブ情報の取得を行い、最初に検出したリムーバブルドライブを FD ドライブとしてセットアップで使用しています。使用する PC でリムーバブルドライブとして割当てられているドライブの中で FD ドライブが最初に検出されるようにしてからセットアップを行ってください。

5.3.5 ログオンできない

初期設定として「admin」がパスワード無しで登録されています。「admin」でログオンして下さい。また、使用者IDは有効日・無効日の考え方をしています。初期設定されている「admin」の有効日は「20020101」となっております。PC の日付が「20020101」以前の場合はログオン出来ません。PC の日付を確認して下さい。

6. アンインストール

ご使用のコンピュータから本製品を削除（アンインストール）する方法を、Windows XP を例に説明します。

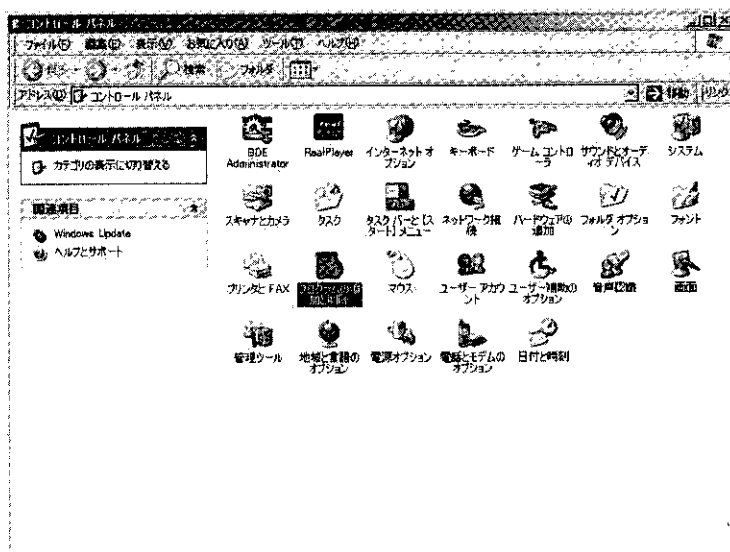
アンインストールをする前に、「4.4 データベースのバックアップについて」に従って必ずデータベースファイルのバックアップを採取して下さい。

6.1 アンインストール手順

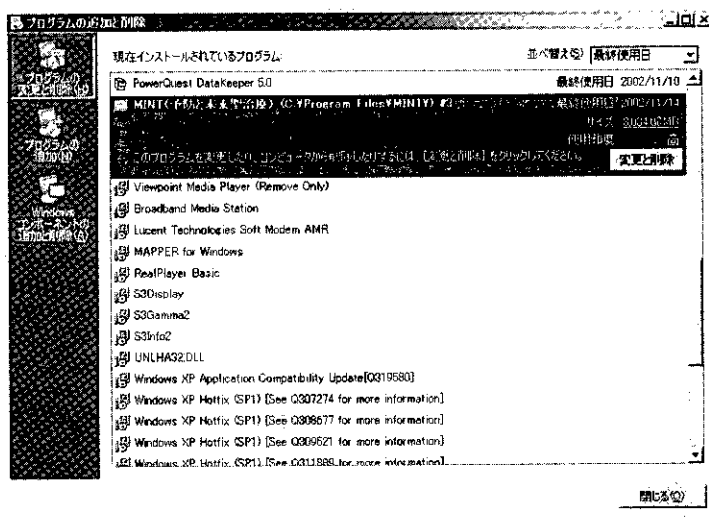
現在動いているアプリケーションを全て終了させて下さい。

タスクバーのスタートメニューから「コントロールパネル (C)」を選択します。

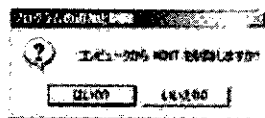
コントロールパネルが表示されたら、「プログラムの追加と削除」を選択します。



プログラムの追加と削除が表示されたら、「MINT」を選択して、[削除] ボタンを押下します。



アプリケーションの削除の確認画面が表示されます。削除する時は [はい] ボタンを押下し、削除しない時は [いいえ] ボタンを押下します。



アンインストール中に、他のアプリケーションでも使用されている可能性のあるファイルについて、削除するかどうかを問い合わせるメッセージが表示される場合があります。このような場合は、「保存」、または「すべて残す」を選択して下さい。